

「軽井沢南教会カフェ」にて
ながれやまカフェ 春日井いつ子

嘗て出迎えの車にこんなに可笑しくてスリル満点を味わった事があつたらうか。初秋の軽井沢の山道を白の軽トラはサーキット場に変えた（と、感じた）。「牧師様！樋野先生をお乗せする時もこ、この速さっすか？」「そだよ～、なんでえ？」。敬愛する宮澤牧師は恐愛に変わった。牧師が穏やかで超優しい方だと分かったのは教会に着いてからである。

樋野先生が御出張の為、私への「軽井沢教会カフェ」への依頼が来たのは4ヶ月前、真面目な私のことです(笑)、周到に準備した原稿は話し始めた途端必要なくなりました。星野先生の時折入る爆笑トークに語る内容を忘れる始末、樋野先生の香りを少しでも残さねばと言う焦りは徒労でした。

優しさ溢れるカフェで心に残るのは二人の初老の語り、一人は草津の温泉アドバイザー・山口氏。温泉効果と認知症の研究を大学等に働きかけているプロカメラマンでもある。もう一人は我らが愛する万座温泉「日進館」から市村さんご夫妻。良質、豊富な湯を熱く語りました（草津と万座、いいなあ）。

そして総括は宮澤牧師です。お帰りモネでも取り上げられ喜びの牧師は「森に溜まった水が腐葉土を通して栄養を蓄え海に戻る。森は海の恋人だよ。自然を大切にしようね」でした。

かくして私は只々軽井沢南教会の温かいおもてなしを受けに訪問しただけでした。樋野先生。お役に立てずゴメンナサイ。



映画「がんと生きる」。『ながれやまカフェ』の様子を上映しました。参加者の感動と共感呼びました。



「解決できなくても……」
花野井メディカルカフェ 中野 綾子

二年前、乳がんを告知された。不安でたまらなかった。そのうち「何で私が病気になったのか」その意味を考え始めた。ちょうどその頃、私が通っている花野井バプテスト教会では、がん哲学外来カフェを立ち上げる計画があった。私が乳がんになったのは、このためかもしれないと思えた。ところがコロナ禍となり、一回目の開催をした後、次の開催の見通しが立たなくなってしまった。

そんな悶々とした気持ちを抱えていた時、流山で言葉の処方箋ドキュメンタリー映画を上映する計画がある事を知り、実行委員を引き受けた。そのご縁から、いろんなカフェの方々と繋がった。がんサバイバーの方が、それぞれの使命感を持って活動をしている姿を見て、パワーを頂いた。そして自分の使命を再確認した。

現在、花野井メディカルカフェは、オンラインだが、毎月開催する事ができるようになった。そんな中でもう一つ自分に使命がある事に気がついた。それは自分が住んでいる我孫子市で、がん哲学外来カフェを開催する事。近隣の市にはいくつかあるのに我孫子市には一つもない。それに気がついた時、これも私の使命かもしれないと思えた。そんな時、協力者が次々と現れ、10月31日湖北地区公民館にてドキュメンタリー映画の上映会が決まった。その後「あびこカフェ」も開催する。

「解決できなくても解消はできる」そんな場がある事を、多くの方々に知って頂きたい。

参加は無料！
要事前予約
(定員60名)

特別講演会&落語会開催のお知らせ

日時： 2021年10月23日(土)
13:00~15:30

場所： 柏地域医療連携センター

費用： 無料(60名限定・要予約)

「がんの悩みを病院の外で心おきなく話したい」—がん哲学外来は、がん患者、経験者、ご家族のための場です。今回は樋野典夫先生の講演と祝福亭福助による落語会(古典落語・滑稽話)を開きます。

コロナ対策も
お願い致します！

＜編集後記＞ 星野 昭江

- ・軽井沢南教会カフェは年に4回の開催です。宮澤牧師のお人柄、そして奥様のおもてなしが素晴らしい！心温まるカフェです。
- ・今回は流山から春日井さんに来て頂きました。軽トラから振り落とされず、良かった！
- ・中野綾子様。「あびこカフェ」の立ち上げももうすぐですね。皆さんが心待ちにしていることでしょう。盛会を祈ります。